

科目名 Course Name	国語基礎教養 National language basics culture				ナンバリング No.	A2-009	
年次	1 年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	田村 眞依子						
連絡方法	C-Learning で対応。または本館 3 階研究室。オフィスアワーは火～金曜日の授業担当時間以外。						
必修／選択	選択						
関連 DP	DP1, DP2						
授業の概要と到達目標	①これまで知らなかったことばや間違っ理解していたことばについて正しく理解し、高い語彙力を身につけるようにする。 ②敬語、文法、語彙、言葉の意味、表記、漢字の 6 つの領域を幅広く学び、日本語検定 3 級に合格できるようにする。 ③日本語の美しさを理解し、社会人として正しい表現ができるようにする。						
授業の方法	教科書を中心に講義と演習を交えながら進め、必要に応じてプリントを配布。ディスカッションやグループワークを取り入れながら、ことばの世界を広げていく。						
学習成果	L01	職業人として知っているべき語彙について理解し、読み書きの力を高めることができる。					
	L02	状況や相手に合わせてことばを使い分けることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	個別に添削をし、授業内で返却をする。小テストや課題は、授業内で解答を示し、フィードバックをする。						
教科書／参考図書	教科書『新訂ステップアップ日本語講座 中級』(東京書籍)						
履修上の留意点やルール等	辞書機能として使用する以外は携帯電話の使用を禁止する。 教科書を必ず購入し、毎回持参すること。 遅刻や私語など、授業の基本的マナーを守ること。 「日本語検定」を受験し、資格取得を目指してほしい。 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分である。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	意欲的に授業に参加し、教員の指示する内容に取り組んでいる。	30			
レポート／作品	指定された内容について調べ学習を行い、まとめる。	5	5		
発表					
小テスト	復習内容を毎回確認する。1回10問程度。	5	5		
試験	記述問題を中心に期末試験を行う。誤字脱字も減点の対象とする。	25	25		
その他					
合 計		65	35		

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション、意識調査
	事前・事後学習	教科書を用意し、全体に目を通す。シラバスを読んでおく。
2	授業内容	尊敬語
	事前・事後学習	教科書の該当問題に取り組む。初見の漢字や語彙の使い方を確認する。
3	授業内容	謙譲語
	事前・事後学習	教科書の該当問題に取り組む。初見の漢字や語彙の使い方を確認する。
4	授業内容	丁寧語
	事前・事後学習	教科書の該当問題に取り組む。初見の漢字や語彙の使い方を確認する。
5	授業内容	敬語のまとめ
	事前・事後学習	教科書の該当問題に取り組む。初見の漢字や語彙の使い方を確認する。
6	授業内容	用言の活用と接続、可能動詞・受身と使役
	事前・事後学習	教科書の該当問題に取り組む。初見の漢字や語彙の使い方を確認する。
7	授業内容	文のねじれ、接続語、助動詞、助詞
	事前・事後学習	教科書の該当問題に取り組む。初見の漢字や語彙の使い方を確認する。
8	授業内容	類義語、対義語
	事前・事後学習	教科書の該当問題に取り組む。初見の漢字や語彙の使い方を確認する。
9	授業内容	多義語
	事前・事後学習	教科書の該当問題に取り組む。初見の漢字や語彙の使い方を確認する。
10	授業内容	慣用句
	事前・事後学習	教科書の該当問題に取り組む。初見の漢字や語彙の使い方を確認する。
11	授業内容	漢字・送り仮名・仮名遣いの誤り
	事前・事後学習	教科書の該当問題に取り組む。初見の漢字や語彙の使い方を確認する。
12	授業内容	熟語の構成、形の似た漢字
	事前・事後学習	教科書の該当問題に取り組む。初見の漢字や語彙の使い方を確認する。
13	授業内容	同音異義語
	事前・事後学習	教科書の該当問題に取り組む。初見の漢字や語彙の使い方を確認する。
14	授業内容	同音異字・同訓異字、四字熟語とその適切な使い方
	事前・事後学習	教科書の該当問題に取り組む。初見の漢字や語彙の使い方を確認する。
15	授業内容	総まとめ
	事前・事後学習	教科書やプリントを見直し、期末試験対策をする。